宮古市過疎地域持続的発展計画（R8～R12）（案）に対する意見募集（パブリック・コメント）の実施結果について

1　実施時期　　令和8年1月9日～令和8年1月28日
2　意見提出方法　　持参、郵送、ファックス、電子メール、LoGoフォーム
3　提出状況　　1組3件
4　意見概要とこれに対する回答

No.	該当箇所	ページ	計画案	意見概要	担当課	意見に対する回答
1	3　産業の振興 （3）　その対策 カ　観光 ②　地域観光資源の活用	34	○観光客誘致を目的とするイベント等の開催を支援します。 ○地域の観光資源の掘り起こしや磨き上げを行い、体験型プログラムの開発と活用を行います。 ○森川海の豊かな自然や地域の文化、三陸ジオパークの見どころ、みちのく潮風トレイルを活用した誘客宣伝を行います。 ○個人客に加え、教育旅行、団体旅行の誘致を図ります。	森川海など自然だけをメインとして考えていると雨や雪の日、冬などは厳しいし楽しむことができないと思います。水産科学館、崎山貝塚縄文の森ミュージアム、北上山地民俗資料館など屋内施設などを活用し少しでも宮古市に滞在する時間を増やすことができるといいと思います。 本州最東端の魵ヶ崎灯台やキャンプ場を訪れる県内や県外の人が多いが辿り着くまでの道が分かりずらいので工夫をするといいと思います。 三陸ジオパークは歩いてまわることが多いが一か所だけ楽しむコースなど車で訪れた方でも気軽に行ってみたいと思ってもらえるような工夫があるといいと思います。	観光課	ご指摘のとおり、市内には各観光施設があり、令和7年6月には田老地区に宮古市災害資料伝承館がオープンいたしました。これらの施設を有効的に観光利用するための課題整理等を行い、利用促進及び滞在時間延長を図って参ります。 現在は様々な媒体で移動ルートの情報を入手できるため、標識類による案内の他、デジタルも含めた移動ルート情報の提供手段について検討してまいります。 また、浄土ヶ浜や三王岩のように市を代表する景勝地もジオの見どころですので、今後三陸ジオパークを紹介する際等の参考にさせていただきます。
2	4　地域における情報化 （3）　その対策 イ　行財政システム ③　デジタル技術の推進	39	○手続アセスメントの結果を踏まえ、書面規制、対面規制、添付書類の見直しを行い、手続の最適化を図ります。 ○手続の最適化、業務の最適化と併せてデジタル技術の活用を推進し、市民サービスの向上と庁内運営の効率化を図ります。 ○デジタルデバイド（情報格差）の解消を図るため、デジタル講座を開催します。	デジタルデバイドを解消することは重要だと思います。スマートフォンやパソコンが苦手であるどの年代の人でもできるように絵や写真を用いてわかりやすく紹介してほしいです。個人的に防災みやここうほうのメール配信サービスがとても役立っているのでもっと多くの市民のみなさんにメール、LINEのサービスを知ってほしいです。	デジタル推進課	いただきましたご意見は、今後の周知を行う際の参考にさせていただきます。 防災みやここうほう（いわてモバイルメール）、公式LINEについて、市民の皆様に利用登録していただけるよう、サービス内容のわかりやすい周知を実施していきます。 また、オンライン申請手続きの充実により、市民サービスの向上を図りつつ、手続きの主な利用者層にあわせた、わかりやすい周知や対応に引き続き取り組んでまいります。
3	8　医療の確保 （3）　その対策 ア　医療体制 ①　医療体制の充実	59	○安定した医療体制を維持するため、国保診療所等を運営します。 ○医師及び看護師、歯科衛生士の確保を目的とした、医師等養成奨学資金貸付制度に取り組みます。 ○県立病院をはじめとする医師及び看護師確保対策の強化や救急医療体制の整備等について、関係機関と連携して県に強く働きかけます。	山田町や釜石市では診療所を開設する方にお金の補助をしますとアピールしている。岩手県も補助をしているが宮古市でもこのような取り組みを行い医師不足を加速させないようにしてほしいです。新築だけでなく空き店舗やテナント利用でも補助が出る仕組みだといいと思います。宮古地域の医師の皆さんの高齢化や疲弊を感じます。	健康課	宮古市を含む宮古医療圏（宮古市・山田町・岩泉町・田野畑村）は、岩手県において医師が少ない地域の一つに区分されており、医師の高齢化に伴う後継の確保は、医療提供体制の確保における当市の課題の一つであると認識しております。 新たに診療所を開設する医師に対する補助制度につきましては、宮古医師会等の関係機関の意見も伺いながら、検討のための情報収集を進めてまいります。